

2019年度

厚生労働科学研究費補助金公募要項

平成30年12月21日

厚生労働省大臣官房厚生科学課

J A - 3 公募研究課題

(1) 研究課題名

IoT を活用した安全管理手法の開発のための研究 (19JA0301)

(2) 目標

近年、作業に習熟した労働者の不足による安全ノウハウの断絶、業務アウトソーシングの増加による現場管理の複雑化、生産設備の自動化・省力化・集約化等による安全管理の困難化が課題となっている。これらの課題に対応するため、近年進歩の著しいIoT技術を活用した安全管理対策システムの開発を行う必要がある。

本研究課題では、IoTを活用した安全管理システムを開発及び実装するための実証実験を行い、同システムの基準等を提案する。

(3) 求められる成果

- ・ 以下の3つのシステムを活用した安全管理システムの開発・実装のため、実際の製造業等の事業場での実証実験及びその有効性の評価を行うとともに、それらシステムの安全基準等に必要とされる内容を取りまとめる。
 - ① 作業支援データベースシステム
 - ② 情報伝達システム
 - ③ 識別・位置等検出システム

(4) 研究費の規模等*

研究費の規模： 1課題当たり年間 18,000千円程度* (間接経費を含む)

研究実施予定期間： 最長3年間 2019年度～2021年度

新規採択課題予定数： 1課題程度*

※ 研究費の規模等はおおよその目安となります。研究費の規模及び新規採択課題予定数等については、今後の予算成立の状況等により変動することがあります。

(5) 採択条件 (【 】内は条件を満たしていることを示す書類等)

- ・ 機械安全・安全衛生管理の専門家、要素技術 (センサー、データベース、ネットワーク等) の専門家など、関連する専門家を研究分担者とする研究班体制が構築されていること。
- ・ 最新の要素技術等の情報が研究内容に反映されることが望ましいため、製造業者団体等で行われている関連研究等と連携ができるものを優先して選択する。(関連の研究等がある場合は、その関係性について研究計画書へ記載をする。)
- ・ 研究分担者又は研究協力者として、若手研究者・女性研究者を研究班に参画させるよう努めること。